平成　23　年度事後評価・決算

事務事業マネジメントシート

平成　24　年　7　月　27　日時点

事務事業名				課	都市整備課
	コード1	1620	旭駅前広場等整備事業	所属班	街路公園班
	コード2		☑ 主要事業	電話番号	62-5354　内線　＊461

政策体系				予算科目	会計	款	項	目
	基本方針	1	安全で魅力のあるまちづくり		一般会計	08	03	02
	施策	2	道路・公共交通網の整備					
	施策の展開	8	駅周辺の整備	根拠法令				
	基本事業	32	旭駅前線の整備					

1　現状把握（Do）

（1）事業概要

① 事業期間

☐ 単年度繰返
　☐ 平成＿年度～
　☐ 開始年度不詳

☑ 期間限定複数年度
　平成 9 年度～
　平成 24 年度まで
　※全体像を記述⇒

② 事業の内容　※何をどのようにする事業なのか、市民が理解できるよう記述する、行政用語は使わない

旭駅周辺施設の景観、安全性、利便性など都市環境向上のための整備工事について、事業主体である県に対し、事業費の一部を負担するとともに、市事業としての周辺施設整備や市民・事業対象者・利害関係者等への調整を行っている。

負担率　：　社会資本整備総合交付金事業（街路）　13.5%
　　県単街路整備事業　30.0%

【業務の流れ】
・負担金の支出
・市民・事業対象者・利害関係者等に対する調整
・駅周辺施設の整備

（2）トータルコスト

① 事業費の内訳（費目等）

・県事業に対する負担金
・駅周辺施設の整備工事費

② 延べ業務時間の内訳

・県事業負担金事務
・市民・事業対象者・利害関係者等に対する調整事務
・駅周辺施設の整備事務

		単位	21年度（決算）	22年度（決算）	23年度（決算）	24年度（計画）	25年度（計画）	26年度（計画）
事業費 財源内訳	国庫支出金	千円			15,000			
	都道府県支出金	千円						
	地方債	千円						
	その他	千円						
	一般財源	千円	29,064	10,435	18,645	22,433		
	事業費計（A）	千円	29,064	10,435	33,645	22,433	0	0
人件費	正規職員従事人数	人	0.60	0.40	0.35	0.25		
	延べ業務時間	時間	1,200	810	700	500		
	人件費計（B）	千円	4,560	3,078	2,660	1,900	0	0
トータルコスト(A)+(B)		千円	33,624	13,513	36,305	24,333	0	0

（3）事務事業の手段・目的・上位目的及び対応する指標

手段

① 主な活動

23年度実績（23年度に行った主な活動）
・県事業負担金事務
・市民・事業対象者・利害関係者等に対する調整事務
・駅周辺施設の整備工事

24年度計画（24年度に計画している主な活動）
・県事業負担金事務
・市民・事業対象者・利害関係者等に対する調整事務

⑤ 活動指標名

		単位	21年度（決算）	22年度（決算）	23年度（決算）	24年度（計画）	25年度（計画）	26年度（計画）
ア	進捗状況（事業費ベース）	%	87.7	89.2	93.4	96.6		
イ								
ウ								

目的

② 対象（誰、何を対象にしているのか）

・旭駅前線（街路・広場）

⑥ 対象指標名

		単位	21年度（決算）	22年度（決算）	23年度（決算）	24年度（計画）	25年度（計画）	26年度（計画）
ア	整備状況（工事費ベース）	%	37.0	39.1	61.5	74.2		
イ								

③ 意図（対象がどのような状態になるのか）

・旭駅周辺施設の景観、安全性、利便性など都市環境向上させる。

⑦ 成果指標名（考え方）

		単位	21年度（決算）	22年度（決算）	23年度（決算）	24年度（計画）	25年度（計画）	26年度（計画）
ア	旭駅乗降者数の推移（　　）	人	3,984	3,842	3,742	3,800		
イ	（　　）							

上位目的

④ さらに、どんな上位目的に結び付けるのか

・安全で円滑な通行を確保するとともに、良好な都市環境の形成と市街地の活性化を図る。

⑧ 上位成果指標名（考え方）

		単位	21年度（決算）	22年度（決算）	23年度（決算）	24年度（計画）	25年度（計画）	26年度（計画）
ア	都市計画道路の整備率（　　）	%	41.3	41.5	42.2	43.0		
イ	（　　）							

（4）事務事業の環境変化、住民意見等

① 開始したきっかけは何か？どんな経緯で始まったか？	② 事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）はどう変化しているか？開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったか？	③ この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者等）からどんな意見や要望が寄せられているか？
駅周辺の景観・安全性・利便性を強化し、交通結節点として円滑な通行形態を確保し、同時に商業施設の活性化を図る。	現在も施工中であるが、整備前と比べ安全で円滑な通行が可能となった。	駅前広場整備について、送迎用の停車スペースの確保などの意見がある。

事務事業名	旭駅前広場等整備事業	課名	都市整備課	班名	街路公園班

2 評価（Check1）担当者による事後評価

目的妥当性評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが上位目的に結びついているか？	□ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☑ 結びついている ⇒【理由】 ・施設を整備することで、駅周辺の利用環境が整い快適さが向上するため。
	② 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	□ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☑ 適切である ⇒【理由】 ・駅利用者が安全で快適に利用することが目的であり適切であると判断した。
	③ 行政関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して実施すべきか？	□ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☑ 妥当である ⇒【理由】 ・不特定多数の利用者が他の公共施設等へアクセスするための重要な施設であり、市が行うことが適切であると判断した。
有効性評価	④ 成果の現状水準 あるべき水準や目標に達しているか？近隣市や類似団体と比較してどうか？	□ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☑ 妥当である ⇒【理由】 ・整備する施設については、適正な構造・規模となっており妥当である。
	⑤ 成果の向上余地 次年度以降の成果向上が期待できるか？事務事業を取り巻く環境変化等を考慮するとどうか？	□ 活動量を増やせば成果は向上する ⇒【理由】 □ 活動量を増やさなくても、やり方を工夫することで成果は向上する ⇒【理由】 ☑ 活動量を増やしたり、活動を工夫したりしても、今以上成果は向上しない ⇒【理由】 ・事業対象者との調整も整っており、県事業完了の見通しも立っていることから、活動量による成果向上の余地は見込めない。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業の他（民間・国県を含む）に方法があるか？ ↓ 他に手段がある場合 (1)具体的にはどのような事務事業か？ (2)類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	□ 他に手段がある (1) 事務事業名：（　　） (2) □ 統廃合ができる ⇒【理由】 □ 連携ができる ⇒【理由】 □ 既に統廃合・連携している ⇒【理由】 □ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 ・県事業で行っており、連携・統廃合ができない。 ☑ 他に手段がない ⇒【理由】
効率性評価	⑦ 事業費の削減余地（表面トータルコストの事業費部分） 事業費を削減できないか？（経費の精査、過剰仕様の適正化、回数削減、住民の協力、アウトソーシングなど）	□ 削減余地がある ⇒【理由】 ☑ 削減余地がない ⇒【理由】 ・県事業に対する負担金のため、削減する余地がない。
	⑧ 人件費の削減余地（表面トータルコストの人件費部分） やり方の工夫（業務プロセスの改善など）や臨時職員の活用・委託により、正規職員の延べ業務時間を削減できないか？	□ 削減余地がある ⇒【理由】 ☑ 削減余地がない ⇒【理由】 ・事業の進捗に反比例して減少しており、完了に近い現時点でこれ以上の削減の余地はない。
公平性評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	□ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☑ 公平・公正である ⇒【理由】 ・不特定多数の人が利用するため公平である。

3 評価（Check2）担当課長による評価結果と総括

（1）1次評価者としての評価結果

① 目的妥当性	☑ 適切	□ 見直し余地あり
② 有効性	☑ 適切	□ 見直し余地あり
③ 効率性	☑ 適切	□ 見直し余地あり
④ 公平性	☑ 適切	□ 見直し余地あり

（2）全体総括（振り返り、反省点）

【特になし】

4 今後の方向性（事務事業担当課案）（Plan）

（1）今後の事業の方向性（複数選択可）　※2～3年後を目処にした方向性

□ 目的再設定
□ 事業のやり方改善による成果向上
□ 事業のやり方改善による事業費削減
□ 受益機会の適正化
□ 廃止・休止
□ 行政関与の見直し
□ 事業統廃合・連携（関連事業：　　）
□ 事業のやり方改善による延べ業務時間削減
□ 費用負担の適正化

（2）改革改善案について　※いつまでに、なにを、どうするのか？

①【特になし】
②
③
④

（3）改革・改善による期待成果
（廃止・休止の場合は記入不要）

		コスト 削減	コスト 維持	コスト 増加
成果	向上			
	維持		○	
	低下			

（4）改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策

①【特になし】
②
③
④